

「しあわせ実感のくにさき」の実現をめざして

国東市長 野田 侃 生



新年あけましておめでとうございます。

皆様方には清々しく新春をお迎えることと心からお喜び申し上げます。

市民並びに市議会の皆様方には、市政に対しまして多大なるご理解とご協力を賜り、深く感謝するとともに厚くお礼を申し上げます。

昨年は、引き続き行財政改革に取り組みながら、事業の選択と集中を行い、市の将来を見据え、小・中学校の耐震化をはじめ、幹線道路の整備など、市民の安心・安全のための事業、妊産婦健康診査の拡充など市民の健康増進や子育て支援対策、国の交付金を活用した緊急雇用創出事業などの新規事業を立ち上げ、ケーブルテレビ事業等の継続事業等を行ってまいりました。

一昨年の金融市場の混乱に端を発した世界金融危機、戦後最大の世界同時不況の波が日本経済を直撃し、雇用不安や消費の冷え込みが解消さ

れず、税収不足など財政の悪化が懸念されています。

このような経済情勢の中、昨年9月に発足した新政権により国の政策が大きく転換されようとしており、今後の地方財政を取り巻く環境は、更なる厳しさを増し、予断を許さない状況が続いていくものと思われ

ます。現在、市では、地方分権や社会情勢の変化に対応できる効率的な行財政運営を目指して、抜本的な行財政改革に全力で取り組んでいます。

しかし、昨今の経済不況による税収の減、今後増加傾向にある社会福祉関係経費や依然高い水準にある公債費等を考えますと、厳しい財政状況に変わりはありません。市といたしましては、引き続き行財政改革に取り組みながら、事業の選択と集中を行い、限られた財源の中で、高齢者福祉・子育て支援をはじめ、健康・医療、社会インフラ整備及び教育環境などの向上に取り組んでまいります。

特に、懸案となっている国東市民病院については、既存施設の一部を残して本館部分等を新規に建設し、平成23年度末の完成を目指して取り組む予定です。施設の耐震化のみな

らず、近代化はもとより公立病院の運営健全化を図ると同時に、開業医の皆さんや各機関と連携し、市民の皆さんの安心安全を支える信頼される病院づくりを目指します。

また、いよいよ本年4月から市内全域でのケーブルテレビサービスがスタートします。自主放送による市の情報伝達の充実や、高速インターネットの利用等、有意義なケーブルテレビサービスの提供に努めてまいります。

平成20年にスタートした「国東市行財政集中改革プラン」は、22年度が最終年度となりますが、これから先の10年を見据え、議会・市民の皆様のご理解・ご協力を得ながら、市の健全体質づくりに邁進してまいります。

本年は、合併5年目という節目の年となりますが、「いにしへの宝を未来につなぐしあわせ実感のくにさき」の実現を目指して、鋭意努力してまいります。

輝かしい平成22年の年頭にあたり、本年が国東市、そして市民の皆様にとりましてすばらしい年になりますよう心よりご祈念いたしまして、新年のごあいさつといたします。



市役所

市長

野田 侃生

副市長

高木 正史

教育長

吉井 孝光

ほか市役所職員一同

議会

議長

諸富 忠

副議長

馬場 将郎

議員

白石 徳明

議員

唯有 幸明

議員

木付 親次

議員

豊田 宏治

議員

溝部 元生

議員

田口 易幸

議員

堤 康二郎

議員

後藤耕一郎

議員

野田 忠治

議員

綾部 敦